

子宮がんを知ろう

「がん検診 未来の自分にできること」 ～がん征圧スローガン～

まだまだ注意！
小まめな水分摂取で
脱水症予防を



高野支所地域振興室 専門員

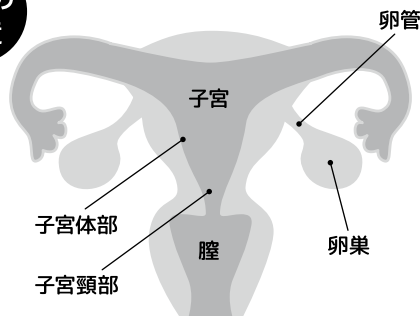
土居 和子

1 しっていますか？

今や日本人の2人に1人が「がん」になり、3人に1人が「がん」で亡くなっています。がんは、日本人の死亡原因の第1位です。

今回は女性に発症する子宮がんについてお知らせします。子宮がんには子宮の入り口付近の頸部にできる「子宮頸がん」と、奥の体部にできる「子宮体がん」があり、早期発見によりほとんどが治るといわれています。

子宮の構造



2 き (気)になる症状 ※初期には全く症状が無いといわれています。

	発見時に多い年齢	全国の罹患状況	主な症状	注意が必要な方
子宮頸がん	30～40代 (最近は20代も増加傾向)	1年間で約1万1千人が診断され、約2,900人が死亡している	<ul style="list-style-type: none"> 不正出血 黄色、血清おりもの 性交時の出血 排尿排便後の出血 下腹部痛 	<ul style="list-style-type: none"> 性交経験がある(経験時期が早かった) 不特定多数と性交体験がある 妊娠出産回数が多い 性感染症にかかったことがある 喫煙している 経口避妊薬ピルを長期使用している 2年以上子宮がん検診を受けていない
子宮体がん	50～60代 (増加傾向)	1年間に約1万4千人が診断され、約2,200人が死亡している	<ul style="list-style-type: none"> 閉経、月経後の不正出血 おりもの 性交時の痛み 下腹部痛、排尿痛 	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠出産したことがない 月経不順である 肥満、高血圧、糖尿病である 初経が早かった 閉経後に少量ずつ長く続く出血がある

3 ゆ うじん(友人)や家族と声をかけあい積極的に子宮がん検診を

庄原市は子宮頸がん検診を行っています。

子宮がんは若い女性もかかりますが、「気恥ずかしい」「怖い」などの理由から若い世代が検診から遠ざかっています。市は、20歳の女性に対して、子宮がん検診の無料クーポン券を送付しています(5月下旬～6月上旬)。子宮がんを早期発見できるように、積極的に検診を受けましょう。また、市では集団健診などの機会を逃した方を対象に、10月に子宮がん・乳がん検診を実施します。※日時・会場などの詳細は、別途市ホームページなどでお知らせします。



4 う んどう(運動)や活動を知り生活習慣の改善に取り組もう

9月は健康増進普及月間、がん征圧月間です。毎年この期間中に、各地で行政や各種団体が、がんについての運動や啓発活動などを行っています。皆さんも、ぜひこの機会にがんに対する知識を深め、生活習慣の改善に前向きに取り組ましましょう。

今月の「健康標語」入選作品
(健康標語は高血圧予防と糖尿病予防のための標語です)

入賞 「げんきよく うんどうすると いいきぶん」くぼしゅうへい

